



さくら



三並小学校学校通信第11号

令和4年2月8日発行

校長 井手 富孝

「かしこい子」「やさしい子」「たくましい子」～チームみなみ～

Version up ! ~Ver.3.0~

暦の上では立春を過ぎ、令和3年度もいよいよ終わりに近づいてきました。学校では今年度のまとめとともに、新年度への準備も始めていきます。これからの一日一日が大切になってきます。現在三並小では、新型コロナウイルスの感染による学級閉鎖はありませんが、町内の小中学校の状況を見ると、決して安心してはいられない状況です。また、「陽性」や「濃厚接触者」と判定されると、長期の出席停止となってしまいます。学校でも、引き続き「感染症対策」を徹底していきますので、ご家庭でのご協力をお願いいたします。



自分の思いや考えを進んで伝え合う子どもの育成
～協働的な学びの場におけるICTの利活用を通して～

この
1年

今年度は「GIGAスクール元年」ということで、1人1台のタブレットが配置され、大きく教育環境が変わってのスタートでした。三並小では、これまでのICT教育の積み重ねを生かし、4月から取組を始めました。1年間を通して授業研究を行い、日々の授業で「ICTを利活用」することをめざしてきました。現在の先生方や子どもたちの活用状況を見てみますと、タブレットを鉛筆や消しゴムと同じように学習の道具として、十分に使いこなせていると感じています。



もちろん、操作技術には学年差はあるものの、高学年はワードやパワーポイントを使って、オンライン上での共同作業を行えるまでになっています。

写真は6年生国語科「思い出を言葉に」の学習風景です。小学校教育で印象に残っていることを俳句・短歌・詩などから表現形式を選んでまとめるという内容です。子どもたちはパワーポイントにまとめ、グループごとにオンラインで作品を提示しながら交流しました。そして、相手の作品への意見を付箋紙にまとめてわたし、作品を仕上げていきました。そのタブレットをスムーズに使いこなす姿は見事でした。



また、朝の活動で取り組んでいる「タイピングタイム」での子どもたちの成長も素晴らしいものがありました。特に、他学年同様、2年生がローマ字入力を練習できるようになってきているのには驚きました。

タブレットはそのまま新学年に持ち上がっていきますので、今後は保存されたこの1年間の学習内容をいつでも取り出し、学習に生かすことも大切にしていきたいと考えています。



- ・今後のPTA行事が大きく変更されています。先日、「2・3・4月の行事予定」を配付していますのでご確認ください。(13日リサイクル活動は運動場で実施します。)
- ・平日の時間外や土日の「感染症」に関する連絡は、役場(22-3385)にお願いします。(かならず、学校名・児童名・電話番号をお伝えください。)

<学校行事から>



席書大会 1/19
1,2年は硬筆、3~6年は毛筆で行い、審査しました。ちくぜん文化祭りで展示されます。

給食ありがとう集会 1/27
給食委が企画して行いました。ライブ配信でしたが、楽しかったと好評でした。

